

令和7年度 事後評価シート

【事務事業シート】

当初	事 項	医療施設施設整備事業費						予算主管課		医療対策課		
	事 業 概 要	地域医療の安定的な確保を図るため、病院における患者療養環境、医療従事者の職場環境、衛生環境等の改善のために病院が行う施設整備に要する経費の一部を補助する。						始期		2011		
								終期				
	K P I	施設への補助実施率										
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	
		実績値	%	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	%	
		ストック /フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%	
		コ ス ト		最終現計 予算額	68327 千円	最終現計 予算額	67939 千円	最終現計 予算額	42381 千円	最終現計 予算額	千円	
	決算額			66539 千円	決算額	62930 千円	決算額	42136 千円	決算額	千円		
					繰越額	千円	繰越額	千円				
	不用額			245 千円	不用額	千円						
	7 年 度	要因分析	要因									
総括												
見直し方向性		維持	引き続き施設への補助を継続し、地域医療の安定的な確保を図る必要があることから、見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	医療施設設備整備事業費						予算主管課		医療対策課		
	事 業 概 要	地域において必要な医療を確保するとともに、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図るため、へき地医療拠点病院や病院群輪番制病院等において必要な医療機器の整備に要する経費の一部を補助する。								始期	2010	
										終期		
	K P I	施設への補助実施率										
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
			R 4 年 度		目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %
		実績値	%		実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	%
		ストック /フロー	フロー		達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	169396 千円	最終現計 予算額	181426 千円	最終現計 予算額	251822 千円	最終現計 予算額	千円	
	決算額			106034 千円	決算額	114867 千円	決算額	149344 千円	決算額	千円		
					繰越額	千円	繰越額	千円				
					不用額	102478 千円	不用額	千円				
	7 年 度	要因分析	要因									
総括												
見直し方向性		維持	引き続き施設への補助を継続し、地域において必要な医療を確保するとともに、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図る必要があることから、見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

3

当初

事 項	病床機能分化連携基盤整備事業費							予算主管課	医療対策課	
事 業 概 要	病床の機能の分化及び連携や地域医療ネットワーク基盤整備等の推進を図る取組みに対する施設・設備整備に要する経費の一部を補助する。							始期	2014	
								終期		
K P I	施設への補助実施率									
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
	R 4 年 度		目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %
	実績値	%	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	0 %	実績値	%
	ストック /フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	0 %	達成率	%
	コ ス ト		最終現計 予算額	209541 千円	最終現計 予算額	88632 千円	最終現計 予算額	204844 千円	最終現計 予算額	千円
決算額			193546 千円	決算額	0 千円	決算額	0 千円	決算額	千円	
				繰越額	千円	繰越額	千円			
						不用額	204844 千円	不用額	千円	

7 年 度	要因分析	要因 補助金の活用を予定していた医療施設の整備が中止・延期になったことによる。								
		総括								
	見直し方向性	維持	引き続き施設への補助を継続し、病床の機能の分化及び連携や地域医療ネットワーク基盤整備等の推進を図る必要があることから、見直しは想定していない。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

4

当初

K P I	事 項	救急医療対策事業費						予算主管課		医療対策課				
	事 業 概 要	救急医療の確保を図るため、病院群輪番制や小児救急医療体制の整備、二次救急医療体制や勤務環境への支援、広域救急医療体制の構築、救急医療対策協議会の運営等に要する経費を補助する。						始期		1972				
								終期						
	病院群輪番制実施地区数													
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
	R 4 年 度		目標値	6 圏域		目標値	6 圏域		目標値	6 圏域				
	実績値	6 圏域		実績値	6 圏域		実績値	6 圏域		実績値	圏域			
	ストック /フロー	フロー		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	100 %			
	コ ス ト		最終現計 予算額	81886 千円		最終現計 予算額	83464 千円		最終現計 予算額	83518 千円		最終現計 予算額	千円	
			決算額	75960 千円		決算額	76491 千円		決算額	75035 千円		決算額	千円	
						繰越額	千円		繰越額	千円				
						不用額	8483 千円		不用額	千円				

7 年 度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績はほぼ想定通りの成果が出ていることから、救急医療が確保できるよう、引き続き病院群輪番制や小児救急医療体制等の整備及び支援を行うため、見直しは想定していない。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

5 当初

事 項	小児救急医療電話相談事業費							予算主管課		医療対策課		
事 業 概 要	小児の急な病気・ケガに関する保護者の相談に対し、医師、看護師が電話相談に応じることにより、保護者の育児不安の緩和を図る。また、症状に応じた適切な受診を促すことで患者・医療機関の負担の軽減を図る。							始期	2007			
								終期				
K P I	電話相談の総件数											
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
	R 4 年 度		目標値	13288 件	目標値	14272 件	目標値	14272 件	目標値	14272 件		
	実績値	9231 件	実績値	14272 件	実績値	13704 件	実績値	14311 件	実績値	件		
	ストック /フロー	フロー	達成率	107.41 %	達成率	96 %	達成率	100.3 %	達成率	%		
	コ ス ト		最終現計 予算額	11405 千円	最終現計 予算額	11405 千円	最終現計 予算額	25793 千円	最終現計 予算額	千円		
決算額			9891 千円	決算額	7871 千円	決算額	22344 千円	決算額	千円			
				繰越額	千円	繰越額	千円					
								不用額	3449 千円	不用額	千円	
7 年 度	要因分析	要因										
		総括										
	見直し方向性	改善	認知度向上のため、引き続きチラシ等での広報活動を行うとともに、相談窓口への接続の向上につながるよう、相談件数の推移等も注視していく。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

6 当初

7 年 度	事業概要	消防防災ヘリコプター搭乗医師等確保事業費						予算主管課		医療対策課				
		医師等が消防防災ヘリコプターに搭乗して救急現場に出動し、救命救急措置等を行った上で患者を医療機関に搬送する（消防防災ヘリコプターのドクターヘリの運用を行う）ことにより、救急患者の救命率の向上、後遺症の軽減等を図る。						始期		2009				
								終期						
	K P I	ドクターヘリの運航により対応した患者数												
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
		R 4 年 度		目標値	35 件		目標値	35 件		目標値	35 件			
		実績値	3 件		実績値	0 件		実績値	0 件		実績値	件		
		ストック/フロー	フロー		達成率	0 %		達成率	0 %		達成率	%		
		コ ス ト		最終現計 予算額	1436 千円		最終現計 予算額	1393 千円		最終現計 予算額	1059 千円		最終現計 予算額	千円
	決算額			368 千円		決算額	368 千円		決算額	626 千円		決算額	千円	
						繰越額	千円		繰越額	千円				
						不用額	433 千円		不用額	千円				
要因分析	要因 令和7年度においては、長期連休を生じさせることなく、ドクターヘリの安定的な運航が確保されており、消防防災ヘリコプターに対し、ドクターヘリの運航を依頼する機会が生じなかったため。													
	総括													
見直し方向性	維持	ドクターヘリが出動要請に応需できていることにより、消防防災ヘリコプターによるドクターヘリの運航の実績は生じていない。しかし、不測の事態に備え、引き続き、消防防災ヘリコプターによる出動体制をあらかじめ確保しておく必要があることから、見直しは想定していない。												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

7

当初

7	事業概要	事項	広域災害・救急等医療情報システム運営費							予算主管課		医療対策課				
			概要	県民に対して医療施設情報や行政情報など幅広い医療情報を提供するとともに、大規模災害時に厚生労働省や他県の医療情報システムとの接続により、広域的な医療情報支援を行う体制の確保を図る。							始期	2000				
											終期					
	K P I	重大な障害により業務に支障が生じた件数														
		KPI種別	下がるの良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	0 件		目標値	0 件		目標値	0 件		目標値	0 件		
		実績値	件		実績値	0 件		実績値	0 件		実績値	0 件		実績値	件	
		ストック/フロー	フロー		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計 予算額	49312 千円		最終現計 予算額	35583 千円		最終現計 予算額	35583 千円		最終現計 予算額	千円	
					決算額	45640 千円		決算額	34341 千円		決算額	34436 千円		決算額	千円	
											繰越額	千円		繰越額	千円	
						不用額	1147 千円		不用額	千円						
7 年 度	要因分析	要因														
		総括														
	見直し方向性	維持	県民・医療関係者に対し、救急や災害時の医療情報の収集及び提供は必要であり、このまま継続する。													

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

8

当初

事 項	救急航空医療学講座設置事業費								予算主管課		医療対策課			
事 業 概 要	ドクターヘリの円滑な導入及び安定的な運航体制を確保するため、愛媛大学の協力のものと、寄附講座「救急航空医療学講座」を設置し、持続的な人材育成が可能な体制の構築と三次救急医療体制の充実・強化を図る。								始期		2021			
									終期		2025			
K P I	講座教員数の維持													
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
	R 4 年 度		目標値	4 名		目標値	4 名		目標値	4 名				
	実績値	4 名		実績値	4 名		実績値	4 名		実績値	名			
	ストック/フロー	フロー		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	100 %			
	コ ス ト		最終現計 予算額	48800 千円		最終現計 予算額	48800 千円		最終現計 予算額	48800 千円		最終現計 予算額	千円	
			決算額	48800 千円		決算額	48800 千円		決算額	48800 千円		決算額	千円	
								繰越額	千円		繰越額	千円		
								不用額	千円		不用額	千円		

7 年 度	要因分析	要因											
		総括											
	見直し方向性	維持	今後のドクターヘリ運航体制の維持及び県内救急・災害医療体制確保のためには同講座の継続が重要であることから、引き続き教員4名体制で講座を継続する。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

9

当初,2
月補正

事 項	ドクターヘリ運航事業費										予算主管課	医療対策課
事 業 概 要	救急医療体制の充実を図るため、県内唯一の高度救命救急センターである県立中央病院を基地病院、搭乗医療スタッフの協力等を行う愛媛大学医学部附属病院を基幹連携病院としてドクターヘリを運航するために要する経費										始期	2016
											終期	
K P I	出動件数											
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	300 件	目標値	300 件	目標値	300 件	目標値	300 件		
	実績値	299 件	実績値	284 件	実績値	333 件	実績値	350 件	実績値	件		
	ストック /フロー	フロー	達成率	94.67 %	達成率	111 %	達成率	116.7 %	達成率	%		
	コ ス ト		最終現計 予算額	329503 千円	最終現計 予算額	358743 千円	最終現計 予算額	480179 千円	最終現計 予算額	千円		
			決算額	312811 千円	決算額	335459 千円	決算額	371951 千円	決算額	千円		
							繰越額	93616 千円	繰越額	千円		
							不用額	14612 千円	不用額	千円		
7 年 度	要因分析	要因										
		総括										
	見直し方向性	維持	学識有識者（搭乗医師等）の意見によれば、県内の医療提供体制や地理的特性を踏まえると、出動件数は年間300件程度が期待値とされており、大幅な増減は見込難いとされていることから、見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。